

毎週日曜発行 2023 5/21

こども新聞 週刊がほピョンプレス

河北新報社 TEL.022-211-1111(月曜から金曜)

きょうのテーマ

こども新聞サミットで提言

ニュース



こども記者が参加

理想の学校について提言を発表する鷹松さん(右端)は(は)から



より良い世界をつくるために、自分たちは何をしたらいいんだろう。全

「こども新聞 週刊がほピョンプレス」から

国の子ども新聞や子ども向け紙面を持つ15新聞社の「こども記者」18人が、3月28日に東京都内で開かれた「第6回こども新聞サミット」(実行委員会主催)で考えたよ。(8面に関連記事)

みんな思い出

みんな動こう

知って助けて伝え合う

みんな知りたい



サミットの提言を元気に唱える参加者

「理想」チームの鷹松さんは、生徒たちが校則の見直しなどに取り組む白石市の白石中を取材したことを紹介。「自分と違う意見を受け入れ、多様性を大事にすれば、いじめがない学校になるのでは」と述べました。「物価高」チームは



は、聖ウルスラ学院英智小6年鷹松ななみさん(11)が仙台市若林区が参加しました。「物価高の影響」「地域に生きる」「理想の学校」の3チームに分かれ、事前に取材して学んだことを発表しました。

みんな守ろう

「今起きていることを正しく知り、生活を工夫する機会にしよう」、「地域に」チームは「地域を知り守っていこう」と訴えました。

これらを受け、サミット全体としての提言もまとめました。「主役は子ども！ 知って助けて伝え合い 身近なピンチをチャンスに変えて つながる世界を広げよう」とし、全員で元気いっぱい唱え、心に刻みました。

ゲストのフォトジャーナリスト安田菜津紀さんは「身近なところから根本的な課題に切り込んでいた。そこから未来が始まるという、気付きを得られた」と講評しました。



終了後、鷹松さんは「自分の考えを話し、みんなの意見を聞いて楽しかった。もっと新聞を読んで、世界中で起きていることを知り、記事で気になったことは学校の友だちとも話し合いたいと思います」と語りました。

今週の注目ニュース

◇24日(水)伊達政宗の命日
 仙台藩祖伊達政宗が1636年のこの日、70歳の生涯を閉じました。毎年、政宗を祭る瑞鳳殿(仙台市青葉区霊屋下)で法要が営まれ、一般の人に向けて本殿のご開帳や貴重な政宗の木像が公開されるんだよ。

きょうの紙面

- 2面 みんなのギモンにこたえるモン
- 3面 3分チャレンジ
- 4・5面 わが校わがまち スクール通信
- 6面 くわしく学べる! こども英語
- 7面 投稿特集

みんなトモダチ